

2018 鹿児島県男女共同参画週間事業(7/25～7/31)

7/25～31は、県の男女共同参画推進条例で定められた「男女共同参画週間」です。女子差別撤廃条約が日本で効力を発した1985年7月25日を記念して、この日から1週間を本県独自に定め、県民の皆様へ男女共同参画について理解と関心を深めていただくため、民間団体との協働により様々なイベントを行っています。

(講演の概要の続き)

◆ 世界の女性・女の子のエンパワーメント

持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標の1つ、ゴール5が「ジェンダー平等と女性・ガールズのエンパワーメント」です。

エンパワーメントは、男女問わず、すべての人に必要なプロセスですが、「女性」「女の子」に関しては、意識して取り組まないと、機会を逃してしまうことがある。だから、特に力を入れて皆で一緒に取り組んでいきましょう、というのが世界共通の認識です。

私たちは日常生活でも、人生でも、たくさんの選択をしながら生きています。それまでの選択の積み重ねがその人の歴史であり、人生そのものであるといっても過言ではありません。その一つひとつを自分以外の人に委ねずに、自分で決めること。それが「自分らしく、幸せに生きる」ための第一歩だ、というのがグローバル・スタンダードです。

【参考】世界の潮流 今回の基調講演で取り上げられた「SDG s」(持続可能な開発目標)を紹介します。

国連による持続可能な開発目標(SDGs)(2016年～2030年)
～17のグローバル目標と169のターゲット～



持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(出典:外務省ホームページ<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>)



国連による持続可能な開発目標(SDGs)の5番目の目標として「ジェンダー平等を実現しよう」が取り上げられています。

目標5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。

基調講演に参加された方の感想

- ・国連での大崎さんの活躍がおもしろかった。女性のエンパワーメントが、これから重要というのが、理論的に理解できた。
- ・世界の話が私たちの生活と無縁ではないんだと知りました。新聞で見ているけど、遠い世界のことだと常々思っていました。
- ・女性と女の子のエンパワーメントを実現することのメリットに目の前が明るくなるような感じでした。

7/25～31

展示

Start Up! 第3次鹿児島県男女共同参画基本計画

7月25日から31日の期間中に、かごしま県民交流センター2階展示ロビーで、パネル展示を行いました。

今回は、第3次鹿児島県男女共同参画基本計画の6つの重点目標ごとに、暮らしの中で生まれたつづやき、現状と課題を紹介しました。



今回制作したパネルについては、市町村等に貸出しを行っています。希望される方は、当センターまでお知らせください。

第3次鹿児島県男女共同参画基本計画の詳細につきましては、県のホーム

第3次鹿児島県男女共同参画基本計画

検索 ページを御覧ください。

7/14～30

展示

シネマで男女共同参画

株式会社丸屋本社の御協力をいただき、マルヤガーデンズにおいて、男女共同参画を学べる展示を行いました。

今回、かごしま女性政策研究会とマルヤガーデンズの自主企画として、県男女共同参画週間に合わせて映画が上映されました。その映画の主人公がたどるライフサイクルに沿って「教育」「女性管理職」「仕事と妊娠」のテーマについて日本の現状や世界各国との比較を紹介しながら、男女共同参画について知っていただくきっかけの場を創りました。

